

様式第4号（第6条関係）

平成29年6月19日

米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンターの管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊木隆司 様

鳥取県米子市彦名新田665  
 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団  
 理事長 角 博 明

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <p>管理業務の実施状況</p>      | <p>(1) 施設等の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 樹木等の管理育成その他米子水鳥公園の保全</li> <li>○ 施設等の保守点検、補修及び清掃</li> <li>○ 施設等の警備</li> <li>○ 施設等に係る経費の支払</li> </ul> <p>(2) 施設等の利用に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種届出書の受付</li> </ul>   |
| <p>施設の利用状況</p>        | <p>平成28年度の入館者数18,167人、前年度比1,662人減となった。</p> <p>本年度は、全国の湿地保全の関係者が集まるラムサールシンポジウム2016 in 中海・宍道湖を開催し、米子水鳥公園の活動について全国に発信を行った。また、米子水鳥公園が、参加している東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップのガンカモ類の国内コーディネーターとして全国各地の団体と情報の交換に努めるだけでなく、韓国や北海道などへ子供達を派遣し、米子水鳥公園を拠点施設とした交流事業に努めた。</p> <p>米子水鳥公園及び周辺自然环境の調査研究をおこない、これをもとに資料の蓄積と情報発信を行った。</p> <p>普及啓発事業として、定例の観察イベントだけでなく、野鳥図鑑画家谷口高司作品展などの様々な展示会を実施した。また、中海子どもパークレンジャー事業や彦名・水鳥ふれあいウォーキング大会など外部との連携や受託による事業を進めた。特に本年度は、大山山麓現地情報発信機能強化業務を受託し、米子水鳥公園の既存の上映映像やパンフレットの多言語化に努めサービス向上に努めた。</p> |
| <p>使用料（利用料金）の収入実績</p> | <p>平成28年度の入館料（一般入館券・割引入館券）及び年間パスポート券代金の収入実績1,560,510円、前年度338,790円減となった。</p>   |

| 管理業務の実施に係る収支状況 |            |       |            |
|----------------|------------|-------|------------|
| 収 入            |            | 支 出   |            |
| 項 目            | 金額 (円)     | 項 目   | 金額 (円)     |
| 米子市からの管理受託料    | 41,428,000 | 人件費   | 26,463,661 |
| 入館料            | 1,560,510  | 消耗品費  | 1,731,889  |
| イベント収入         | 148,740    | 光熱水料費 | 1,761,417  |
| 積立金取り崩し        | 294,241    | 共済費   | 3,690,157  |
|                |            | 委託費   | 7,092,294  |
|                |            | 租税公課  | 1,677,300  |
|                |            | 修繕費   | 347,636    |
|                |            | その他   | 667,137    |
| 合 計            | 43,431,491 | 合 計   | 43,431,491 |